



奈良県 フォレスターって どんな仕事？



■ 奈良県は県土の77%を森林が占め、吉野林業地域を中心に、古くから林業が盛んにおこなわれてきました。しかし、長引く木材価格の低迷、山村の過疎・高齢化等により、手入れがなされない施業放置林が増加し、森林の持つ公益的機能の低下が問題となっていました。

■ そんななか、奈良県ではスイスのリース林業教育センターと友好提携を締結する機会に恵まれたことから、スイスの森林環境管理を参考とした新たな森林環境管理制度を導入しました。

■ 令和2年3月には「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」・「奈良県県産材の安定供給及び利用の促進に関する条例」の二つの条例を制定、令和3年3月には令和3～7年度の行動計画となる「第一期奈良県森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する指針」を制定し、新たな森林環境管理制度を開始。また、令和8年3月には、令和8～12年度の行動計画となる「第二期指針」を制定しています。

■ 新たな森林環境管理制度では、森林の4機能（森林資源生産機能・防災機能・生物多様性保全機能・レクリエーション機能）の高度発揮を目指し、目指すべき森林（恒続林・適正人工林・自然林・天然林の4区分）へ誘導することとしています。その中心的役割を担うのが、「奈良県フォレスター」です。

奈良県フォレスターとは

県&
市町村職員

採用後に
学べる！

フォレスターアカデミー卒業後・市町村に派遣。県職員と市町村職員の身分を併任。

森林管理職として県職員に採用された方は、フォレスターアカデミーに入学、フォレスター学科（2年間）で専門知識を習得。フォレスターアカデミー卒業後、「奈良県フォレスター」として任命、市町村に配置します。

県では、奈良県フォレスター派遣予定の市町村から伐採届の事務を受託。市町村に派遣された「奈良県フォレスター」は、県職員と市町村職員の身分を併任しており、県が市町村から受託した伐採届業務を県職員の身分で行い、市町村森林整備計画の推進関係業務及び施業放置林整備関係業務を市町村職員の身分で行います。

同一市町村への長期派遣

担当市町村に常駐し、長期間同一区域を担当。

同一市町村に
ずっと関わる

奈良県フォレスターは、派遣された担当市町村に常駐し、長期間同一区域を担当することで、その地域における森林環境管理に関する総合的なマネジメントを行います。

令和8年4月時点で18名の奈良県フォレスターを15市町村に配置しています。

【五條市、御所市、宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村、吉野町、大淀町、黒滝村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村】

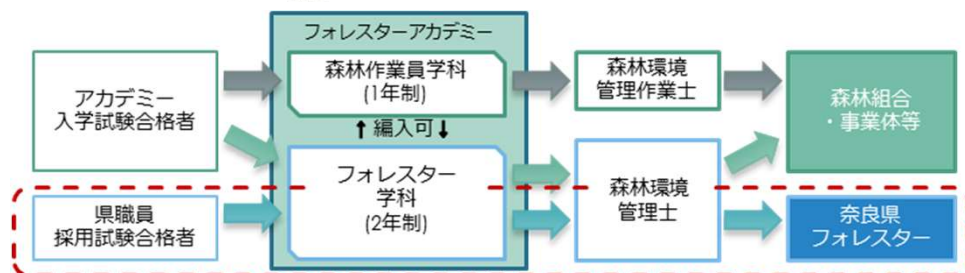
★市町村への派遣は、市町村からの要望を受けて選定されます。

（派遣年度に要望のない市町村には行けません）

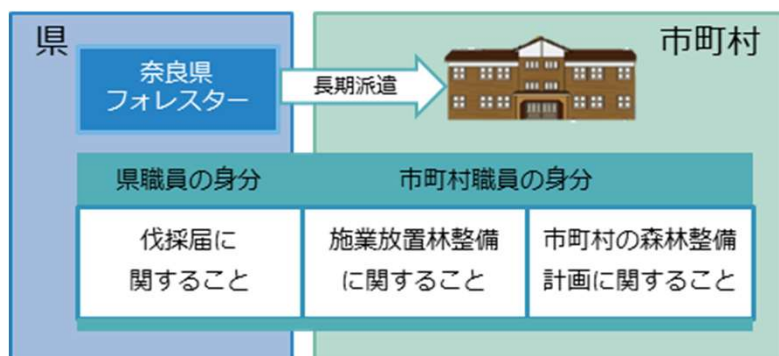
★ひとりのフォレスターが長期間同一区域を担当することを制度の要としており、原則として定年まで配置市町村の変更はありません。

★市町村派遣後の服務・勤務時間（休暇等）は市町村の規定によります。

★令和8年度からは、広域的な課題に取り組む広域フォレスターも配置しています。



奈良県フォレスターの業務



- ◆ 奈良県フォレスターを同一市町村に長期派遣
- ◆ 奈良県フォレスターは県職員と市町村職員の身分を併任し、県と市町村の業務に従事
- ◆ 奈良県フォレスターを派遣した市町村は伐採届の権限を県に移譲

奈良県フォレスターの業務内容は

地域の森林・林業・木材産業等に関する事に、幅広く関わります。
配属地域によって課題も異なるため、取組内容には違いがあります。

- 伐採届の書類審査・現地確認
- 管内の森林・林業・木材産業等の振興策の検討・実施
- 管内の森林を活かした関係人口の増加策等の検討・実施
- 管内の森林所有者・森林組合・林業事業体等の関係者への指導・支援・提案
- 森林GIS等による管内森林データの整備・利活用
- 美しい森林づくり基盤整備交付金等の各種補助事業に関する業務
- 森林環境譲与税活用事業に関する業務 etc.

関わる仕事は
多種多様

県内には仲間が
いっぱい

奈良県フォレスターアカデミーって

森林環境の維持向上に関する専門的な知識、技術、技能を備えた人材を養成。

令和3年4月に吉野町飯貝に開校。安全かつ効率的に作業ができる知識・技能を学ぶ1年制の森林作業員学科と、森づくりのプロフェッショナルに必要な知識・技能を学ぶ2年制のフォレスター学科の2つの学科があります。定員は2つの学科を合わせて20名程度（県職員採用者を含む）で、県職員を除く卒業生の進路は森林組合や事業体等となっています。

令和7年度末でアカデミーの卒業生は72名、そのうち8割以上※の方が県内で就職されています。2年間、同じ時間を過ごした仲間が各地域でそれぞれの活動を行うことで、県の森林・林業業界全体の横のつながりも生まれています。

※ 奈良県フォレスター含む

奈良県フォレスター配置市町村

令和8年4月時点で18名の奈良県フォレスターを15市町村に配置しています。

【五條市、御所市、宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村、吉野町、大淀町、黒滝村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村】

令和5年度~

令和6年度~

令和7年度~

令和8年度~



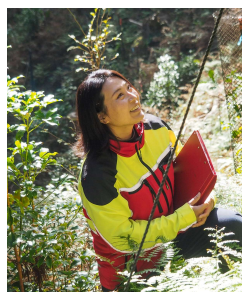
黒滝村5頁



曾爾村4頁



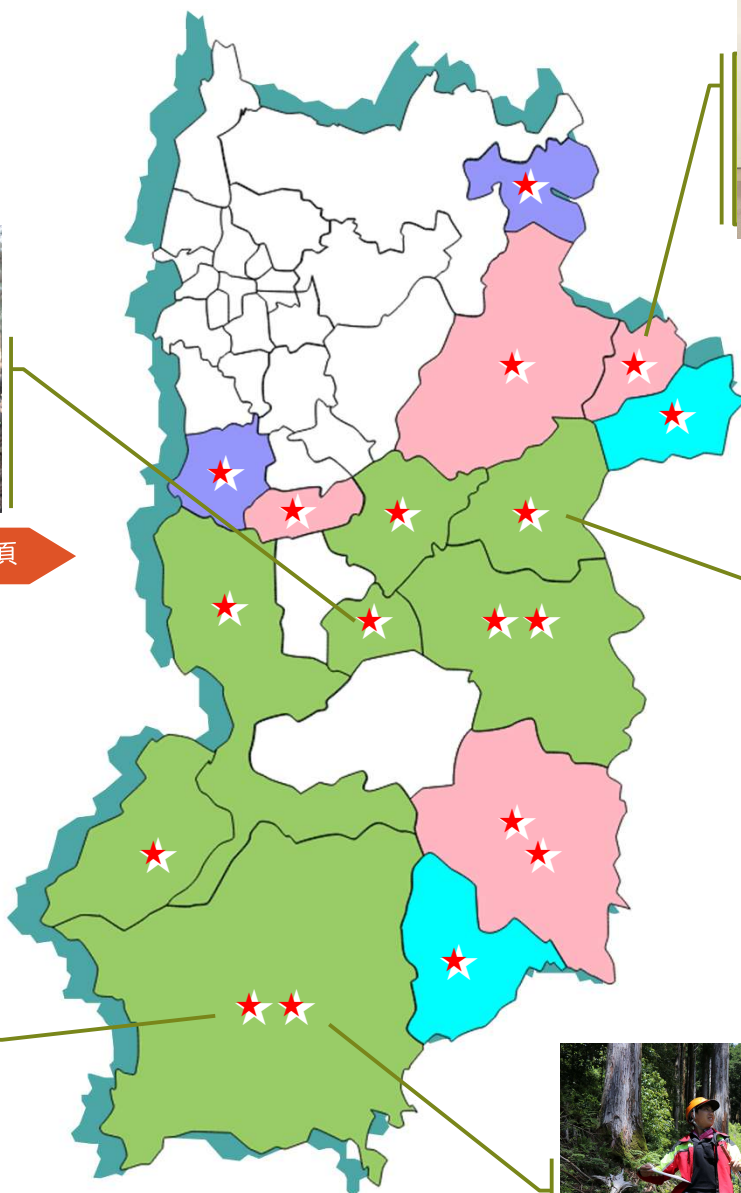
東吉野村8頁



十津川村7頁



十津川村6頁



令和7年度 曽爾村派遣

01

自己紹介

令和7年4月から宇陀郡の曽爾村役場 地域基盤整備課でフォレスターを務めています。沖縄県出身で、採用と同時に家族で奈良県に移住し、現在は桜井市から曽爾村に通勤しています。これまで学校教員、自動車ディーラー、団体職員等、様々な仕事を経験してきましたが、採用当時は林業についての知識は全くありませんでした。趣味で狩猟をしていたこともあり、奈良県の森林におけるニホンジカの食害問題に対して、自身の狩猟の知識・技能を活かしつつ、新たなアプローチで森林管理に携われないかと思い立ちフォレスターを志望しました。



02

業務内容

地域基盤整備課は、村内の農林水産業及び公共土木・村林道管理のほか、観光に関する事業を行っています。私はフォレスターとして、林業関係の補助金申請に係る事務や、事業の進捗確認、伐採届の受理・審査等の業務を担当しています。一方、地域基盤整備課は役場内でも幅広い事業を担当している部署であるため、土木系の検査手伝いや観光系の夏祭り運営の補助等、係の垣根を越えて互いに協働することも珍しくありません。各係の仕事を通して、共通のステークホルダーとやり取りする機会も多く、着任してからの一年で非常に多様な業務を経験することができました。

03

仕事のやりがい・苦労したこと

奈良県フォレスターのやりがいは、「自身の仕事が森林施業という形で残ること」だと感じています。自身の構想や設計を通じて森林環境や周辺環境がどのように変遷していくのか、また新たな経済活動が発展していく様子を間近で観察しつつ、「ここは上手くいった、次はこう改善しよう。」と業務の中で試行錯誤し、よりよい形を模索する行程にやりがいを感じています。一方、森林管理は森林法や砂防法、自然公園法等様々な法令や観光イベント等の経済活動と関連しているため、事業の規模が大きくなればなるほど、業務量も増えるように思います。赴任して一年目など、業務の終わりが見えず、目の前の仕事を片付けていくことで精いっぱいな時期もありました。

04

奈良県フォレスターを目指す方へ！！

奈良県フォレスターは森林管理の専門家として林業に係る幅広い知識・技能が求められますが、それ以上にステークホルダーである地域住民の方々や事業体関係者、行政関係者とのコミュニケーション能力が求められます。知識や技術だけでは地域の信頼を得ることは難しく、相手の想いに耳を傾けながらも、時には困難な調整を行い、地道に合意形成を目指す粘り強さが求められるため、地道にコツコツ物事を進めつつ、常にアンテナを張って他者との接点を見つけ、自分から飛び込んでいくような「人との関わり合い」が得意な方に向いていると思います。

令和5年度 黒滝村派遣



01

自己紹介

工学部出身で重機メーカーの整備職を経て、林業現場での課題解決に挑むため林業会社へ転職しました。現場で感じた産業構造への疑問や、林業全体を見渡して課題解決に取り組みたいという想いから奈良県森林管理職を志望。現在は奈良県フォレスターとして黒滝村役場に派遣され、3年が経過しました。現場作業員の視点とアカデミーでの学びを武器に、黒滝村の森林振興と地域課題の解決に情熱を注いでいます。

02

業務内容

県の研修日(年10日程度)以外は村役場へ出勤し、村の林務行政としての仕事が多いです。環境譲与税の使途を考えるにあたり、村内事業者の声を聞いて、既存事業の見直しや新規事業を考案することもあります。森林環境教育の実施にも力を入れており、村内外の小中学生向けのイベント企画・実施も継続的に実施しています。業務内容は、派遣される市町村によって大きく異なりますが、業務の幅は非常に広いため、自分が注力したい業務が見つかる可能性は高いように感じます。

03

仕事のやりがい・苦労したこと

着任後は、地域特有の複雑な林業事情や、所有者の意識変革の難しさを痛感しています。一方で、自分の提案が将来の地域振興や災害防止に直結することに大きなやりがいを感じます。行政特有の事務処理には戸惑いもありますが、前職の経験を活かして、林業従事者や森林所有者などの多様な意見を聞き、少しずつ足並みを揃えて課題に向き合うプロセスは、現場作業とは異なる新しい挑戦です。

04

奈良県フォレスターを目指す方へ！！

行政という視点から林業・木材産業全体を変えたいという熱意を持つ方に最適です。単なる技術者ではなく、地域課題に寄り添い、多角的な視野で解決策を導き出す力が求められます。林業現場の経験はなくても全く問題ないですが、ある場合は、より現場と行政をつなぐ架け橋になりやすいと思います。林業の未来を自らの手で切り拓きたいという挑戦心あふれる方、ぜひ一緒に奈良県の誇る森林づくりに取り組んでいきましょう！

令和5年度 十津川村派遣



01

自己紹介

こんにちは！私は令和5年度より十津川村に派遣されている、奈良県フォレスターです！高校卒業後に森林管理職として採用され、現在6年目になります。自分でいうのはなんですが、持ち前の明るさと若さ？を活かして、日々業務に取り組んでいます！大きな声で言えるような志望動機はなく、当時は自然と関わるのが少なく「自然と関わりたいことがしたいな」と思っていた時に、公務員として、2年間、森林林業（自然）にまつわる専門的なことが勉強できる、そういうところに魅力を感じ、志望しました。

02

業務内容

私の配属されている農林課＞林業係では、林業関係の川上から川下（木を伐るところから製品として売るところ）までに関わる事業関係の業務や、村有林を中心とした森林管理業務を行っておりますが、私は主に川上関係の事業や森林管理業務を行っております。業務の割合としては、事務作業半分、現場作業（事前確認・検査）といった感じです。

03

仕事のやりがい・苦勞したこと

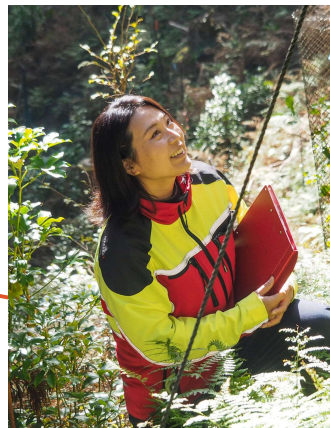
学生時代は、頭が森林のことでいっぱいになるほど多くのことを学びます。課題もありますし、勉強が苦手でも大変です。しかし、それらは今、フォレスターとして派遣されている我々にとって必要なものが大半です。未経験からでも学べることを考えると、必ず必要になる苦勞だと今では感じています。また、行政職員としてきってもきりはなせない「住民対応」は、苦勞する点の一つだと感じています。

04

奈良県フォレスターを目指す方へ！！

フォレスターは個人的に、新しいことにチャレンジすることが多い仕事だと思っています。ですので、「森林・林業や自然に対して、こう変えたい!」というような強い気持ちがある方が向いているのではないのかな、と思っています。フォレスターの仕事について、インスタグラムや記事等、様々な情報があります。仕事・仕組みについて理解いただき、「フォレスターになりたい」と思ってください方、ぜひお待ちしております！

令和7年度 十津川村派遣



01

自己紹介

2025年春、十津川村役場農林課へ配属され、2年目になります(奈良県入庁4年目)。

2020年の新型コロナウイルスにより社会が変容した頃、四季を感じられる森林や自然が身近にある環境・暮らしが、人々の心の豊かさにとって大切で、今後さらに価値が高まると考えるようになりました。これらの価値を高める、奈良県フォレスターの募集がタイミングよく目に入りました。

02

業務内容

普段は、伐採に関する届出や補助金に関する事務処理でデスクワークが中心です。付随して、実際の現場を確認しに行くことも多々あります。その他、講習会や会議の開催事務など人と調整する業務も多いです。そのほか、村が保有する林況を確認するため、標高1,000m超の修験道を歩いたり、1日中、山を歩いたり、修行のような日もごくたまにありました。

03

仕事のやりがい・苦労したこと

担当する事業の中には1年目から植栽の設計をする業務がありましたが、春になり山で力強く成長する苗木をみて、安堵する気持ちと、森林にしていこうという強い気持ちが芽生え、やりがいを感じられています。それも、市町村への派遣前に2年間、奈良県フォレスターアカデミーでじっくり学べる環境があったからです。先進事例の視察等により県外や海外のスイス研修なども行きました。業務を通じて、自身の知見も広がるので、出かけるのが好きな人は楽しいと思います。

04

奈良県フォレスターを目指す方へ！！

派遣される立場になると、不安の方が大きいかもしれませんが、原則、長期の異動なしは、考え方を変えると、およそ3~4年に1度の「異動」に係る引継ぎの労力と新たな業務を一から知識を積み上げる行程を省略できます。他の職種に比べて年度を超えた業務計画が組みやすく、業務の平準化ができることが自分にとってメリットが大きいと考えました。採用後は、2年間の研修と派遣後のフォローアップ体制、広域フォレスターの配置により、入庁前の不安は徐々に解消されていっています。奈良県の森林に携わり続けたい、という気持ちがあれば、悪くない条件だと思うので、一緒に100年後の森林づくりを目指す仲間をお待ちしております!!

令和5年度 東吉野村派遣



01

自己紹介

2023年より東吉野村に派遣されております。前職は通信系の会社で働いており、大学も文系の学部でしたので、特に経験などがあったというわけではありません。縁あって林業を志し、2021年に奈良県フォレスターアカデミーに入学しました。在学中に林業について詳しい市町村職員が少なく、必要とされていることを知ったことから森林管理職という道を選びました。

02

業務内容

派遣される市町村によって業務内容は様々ですが、東吉野村では一般的な行政の書類仕事を中心に、伐採現場の確認などで実際に山に足を運ぶといった仕事をしています。木を伐って、山から出して、製材し、販売するという木材生産の一連の流れに関わるので、比重の違いはありますが、業務範囲は非常に広範だと思います。

03

仕事のやりがい・苦勞したこと

奈良県職員と市町村職員という両方の立場があるため、いろいろな仕事に関わることが多いです。中でも林業に携わる方々と話す中で地域の課題を整理し、今後の林政を考えることが一番大変な業務ですが、同時にやりがいを感じています。その他、大変なことは業務の中で山に入り、森の中を歩くなかで、時々行き当たる非常に急峻な斜面です。高所恐怖症にはハードな仕事です。

04

奈良県フォレスターを目指す方へ！！

山林には多くの側面があります。水源涵養や防災機能といった公益的な側面や、誰かの資産・生業の場という経済的な側面、地域の原風景という文化的な側面などです。それだけ多様なステークホルダーがいるということです。多くの人と関わるなかで仕事を進められるコミュニケーション能力や謙虚さは必須だと思います。そして、様々な関わり方ができる分、自分の能力を活かせる場所がどこかに必ずあると思います。



お問い合わせ先

奈良県森林環境課 共生推進係

電話:0742-27-8115 FAX:0742-24-5004

奈良県フォレスターアカデミー:

<https://nfa.ac.jp/>



Instagram奈良県フォレスター活動記録:

https://www.instagram.com/nara_prefecture_forester



奈良県人事委員会HP:

<https://www.pref.nara.lg.jp/site/narakensaiyou/shokushu/shokushu10.html>

